

単位数	2	学科（型） 学年	電気システム科 2年	教科書 副教材等	機械製図（実教出版）
学習目標		機械製図の基本を学び、機械・器具の設計製図に至るまで段階を追って学習する。そのうえで、CADによる設計製図の概要を学習する。 機械製図に関する基礎知識を、総合的にまとめる能力を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第1章 製図の基礎 1 機械製図と規格 2 製図用具とその使い方 3 図面に用いる文字と線			・工業における図面や製図の意義・役割等を理解し、機械製図に関する JIS 規格の概要を知り、それらが実際に活用できるように学習する。 ・製図用具の種類と用途を知り、正しい使い方等を理解する。 ・JIS 規格に規定された文字や線の種類と用途について学習するとともに、図面に用いる文字や線が正しく、きれいに、迅速にかけるよう反復練習する。	
2	4 基礎的な図形のかき方 5 投影図のえがき方 6 立体図の図示法 7 展開図			・直線と円弧、円弧と円弧のつながり方やだ円や歯形曲線などの特殊な図形のかき方について、実技(演習課題等)を通して学習する。 ・第三角法による投影図のかき方等について、実技(演習課題等)を通して学習する。 ・品物を立体的にえがく等角投影法（軸測投影）について学習する。	
3	第2章 製作図 1 製作図のあらまし 2 図の表し方 3 寸法記入法 4 公差、表面性状 5 スケッチ			・等角投影図と等角図との違いを理解し、斜面部や曲面部をもつ品物の等角図のえがき方について、実技（演習課題等）を通して学習する。 ・製作図の種類や用途等を理解し、製作図(原図)のかき方や検図の仕方について、実技(演習課題等)を通して学習する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、図面などを正しく読み、作成できる力を身に付けている。 ・機械製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、各種機械や部品の製作に使用される図面等の役割や作図法などを身に付けている。			
思考・判断・表現力		・各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心を持ち、機械製図の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組もうとしている。			
評価方法	学習の状況は、「出席の状況」、「授業中の態度」、「提出物（ノート・プリント）」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は上記の観点から評価した各学期の成績の相加平均とし、5段階法でも評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 課題作品は丁寧に授業中に仕上げることを心掛けてください。 ○ 宿題や課題は必ずやり遂げましょう。また、提出物は丁寧に書き、必ず提出期限を守り提出しましょう。 ○ 授業中は先生の指示（聞きなさい。書きなさい。話し合いなさい。など）をしっかりと聞き、指示された通りの活動を行い、授業に積極的に参加してください。 ○ わからない内容がある場合は、遠慮しないで積極的に質問してください。					